

WIN^{CONCORD} コンコード NEWSLETTER

ミカンとカラタチ

大阪市立大学後期博士課程

金 美 鏡 (韓 国)

我らの周辺で先進国の例がしばしば引用される。自己表現や主張の正当性を他人に強要し、確認させようとするからである。先進国というだけで、羨望や模倣の対象になれる。先進国という言葉だけでは、なにが「先進」している国なのか分からないので、この点を明らかにする必要がある。たとえば産業が進んでいるからといって、すべての分野の産業が進んでいるという訳ではない。進んでいるというとき、その基準のおき方が問題になる。さらに、先進国の水準や状態に従おうとすると、我らの事情や能力が無視されたまま、無条件的な受け入れ態度と意欲が先に立つようである。「先進国はこうだから」追いつこうということになる。古代ローマ帝国も崩壊し、大英帝国も没落して米国も同様の道をたどるかもしれない。追いつこう、という表現だけが強調され、先進国の「なにに」「どのようにして」追いつこうとしているのか、という点が欠落している。中国では、戦略家は一人で十分だが、戦術家は大量必要だといわれている。しかし、今日人々は皆戦術家になろうとして、戦術は取るに足らないことだと考えている。総論には賛成するものの、各論になると意見はさまざまに分かれる。

芸術や文学は効果を極大化させるために過大な表現が必要とされるし、新聞では理念や視覚そしてセンセーションナリズムという濾過器を通じて事実が記事にされるのにもかかわらず、人々はその記事を額面

通り受けとめてしまう。

通常米国文化というと、白人中産階級の文化を指し示す。世界のすべての人種がそれぞれ固有の文化をもって、5時間の時差をもって混在しているのが米国である。5時間の時差というと、ソウルとハワイの距離に匹敵する。米国人はゆっくりと食事をするが、英国人は驚くほど速く食事をする。フランス人は料理を順番通り食べるが、英国人はそうではない。英国人は米国人に頼ろうとするが、米国人は英国人のことをロシア人程度にしか思っていない。米国の警察は犯人が逃げようとする、すぐに銃で撃とうとするが、英国ではそういうことは禁止されている。英国では、ドイツ人に対しては旅行ガイドは青信号のときだけ横断歩道をわたりなさいと特に注意する。

ベルギー人は英国人の秩序正しい点や時間に厳しい点を揶揄する。制度というのは本来人間のためにあるもので、人間を束縛するためにあるものではないはずである。スイスでは、環境保護のため5分以上車を駐停車するときにはエンジンを切ることが義務づけられている。

先進国の間でも、生き方や考え方に差異がある。国境を挟んだイタリアとオーストリアでは家の造り方は異なる。フランス人はその個人主義故嫌われる。イギリスでは40歳を過ぎると年老いた親と一緒に住むために家を準備するようになるし、兄が病気になるれば弟はたとえ遠く離れて住んでいても看病する

ためにやってくる。また、町で年寄りに出会えば軽く会釈もする。さらに、高校までの教育の重点は第一に健康、第二に道徳、そして第三に知識におかれている。

日本では、子供の教育をわざわざお金を出して他人に依存しようとする。そもそも民主政治は法律による政治である。それ故、たとえ法律が正しくなくても守らねばならず、またその法律自体は国によって異なる。

英国の王立農業研究所では研究結果は研究者ではなくて一般の農民が評価する。従って、米国に比べて土地は肥沃とはいえないが、害虫による被害は少ない。

いくら美味しいミカンだからといっても、本来の産地から無理に移植してはミカンはおろか枳殻さえもできないかもしれない。同様に、外国の文化・風習・政治制度などもそれがいかに優れているように見えても、これをそのまま輸入してうまくいくとは限らない。進歩・発展を望むのなら、むしろ自国の既存のものをよりすぐれたものにする努力こそが重要なのではないだろうか。先進国に学ぶことは決して易しいことではない。先進国に学ぼうとするときには、もう一度なにが「先進」なのかをじっくりと考えてみる必要がある。

1994年度活動経過

- 4月 9日 新入生歓迎花見(和歌山城)
- 5月14日 コンコード総会・交流会
- 5月21日 加太春日神社 御渡祭参加
- 5月22日 ホストファミリー説明会
- 5月23日 関西国際航空視察
- 6月12日 WINコンコード運営会議
- 7月15日 ホストファミリー会議
- 7/30~31日 サマーキャンプ(清水町)
- 9月11日 ホストファミリー会議
- 10月 1日 大学祭 模擬店試食会
- 10月 8日 カラオケパーティ(橋本様宅)
- 10月23日 高野山ドライブ
- 11月13日 和大祭 留学生の店
- 11月29日 講演会(盛和塾)
ホームパーティー(橋本様宅)
- 12月 1日 和大国際交流会館 入居
- 12月22日 クリスマスパティ(海瀬様宅)
- 1月 2日 新年会
- 1/11~12日 日本電装㈱見学・スキー旅行
- 2月 4日 阪神大震災留学生支援活動会議
- 2月11日 震災支援テレカ、募金の準備
- 2/25・26日 阪神大震災街頭募金
- 3月下旬 新入生受入の生活用品準備
帰国卒業生より生活用品受け取り



カンボジアを知っていますか？

プル・ポラン

(カンボジア)

カンボジアは色々な手段を使って、平和を促進させるために長い時間を捧げてきました。今日はこの機会に、私の国を知らない人やアンコールワットを聞いたことのない人のために、ご紹介しましょう。

日本に住んで約1年たった私の経験から言うと、日本人や外国人にとってアンコールワットはカンボジアより有名なようです。私が日本に来た時、外国人に「どこから来たの？」と聞かれました。私が「カンボジアです。」と答えると、誰も知りませんでした。しかし、私がアンコールワットという言葉を口にすると、ある人が、「アンコールワットですか？」と尋ねてきたので、私は「そうです。」と答えました。これは少しおかしいようですが、本当なんです。もしかすると、私の国名はあまり有名でないのかも知れません。

カンボジアは1970年に内戦が起こり、世界中で小さくて貧しい国の一つといえます。1993年のカンボジアの人口は、950万人です。人口密度は1kmに55人位です。全体的に言うと、カンボジアは周りの東アジアのようにいくつかの山や、多くの森があります。カンボジアの大森林がある場所は国土の60%近くにもものぼります。カンボジアには18地方あり、都市はコンボンソムとプノンペンの2つがあります。プノンペンは大都市で、常に国の文化、社会、政治、経済に影響を及ぼす戦略地位にあります。コンボンソムには、大きな港があり、観光地として知られています。

私の国には、大きく分けると雨季と夏の2つの季節があります。気候は毎月変わりますが、夏は12月から6月までで、雨季は7月から11月までです。皆さんの中でカンボジアを訪問したいと思っている人にとって、12月から4月までの間は一番良い時

期です。ぜひこの時期にカンボジアに行ってください。

カンボジアにある長い川、メコン川は、北からプノンペンの下流まで流れていて、ベトナムにあるバサックという三角州を通して南シナ海につながっています。トンレサップ川は、プノンペンと北西から流れるメコン川が合流して、トンレサップ湖という大きな湖につながっています。

トンレサップ湖とメコンは4つの農生態システムから成り立っています。河川の流域の中心部の気温はほぼ一定していて、最高28℃最低22℃で、平均25℃位です。しかし時には、32℃以上という気温にもなります。最低気温が10℃以下になることもまれにあります。1月は最も寒い月で、4月は暖かい月です。沿岸のベトナムにはしばしば台風が来て、時にはカンボジアにも被害を及ぼします。多くのカンボジアのお祭り行事は、季節の変わり目に行われます。無くなってしまったものもありますが、今もまだ家庭で祝われている祭が沢山あります。4月13日からお正月が始まります。人々はお守りの様なものを家の門に飾り、朝食には果物やケーキを食べます。大勢の人々がお寺や神社にお参りに行きます。カンボジアには多様な伝統的な文化があります。それぞれの地方に特別で伝統的な歌、楽器、芸術、そしてカンボジアで有名なアサブラという伝統的な踊り等があります。

カンボジア政府は、3つの宗教を認めています。仏教、イスラム教、儒教の3つで、いずれの宗教にも特別な祭日があります。カンボジア人の多くは、仏教徒で約95%を占めております。また、人々はクメール語を話します。

(訳 松島 美恵)



私の故郷

夏克丁

(中国)

私は中国の一番内陸とも言える—新疆ウイグル族自治区から参りました。平成六年四月に和歌山大学経済研究科に入学し、今修士課程で画像処理(IMAGE PROCESSING)を勉強しております。来日して特に和歌山に来てから、たくさんの親切な優しい人と知り合えて、私は本当に嬉しいと思います。でも、もっとたくさんの友達と知り合えるよう、ここで新疆とは、どういうところかを簡単に紹介させて頂きたいと思います。

新疆は中国の西北の方であり、全国総面積の約六分の一(160万平方キロメートル)を占めています。私の出身地は新疆の首府—烏魯木齊(ウルムチ)です。新疆の人口は1,269万人でその中に漢民族やウイグル民族等の46民族もあります。たまたに民族の衝突があるけれど、ここへ遊びに来たら大変面白いと思います。内陸の盆地である烏魯木奇では温度の差が激しいです。一年中の一番暑い時は43.4℃で一番寒い時は-41℃です。ここでは果物が



とても甘くて美味しいです。また、新疆はいろんな資源に恵まれています。例えば、金、石油、石炭、綿、羊毛、塩などがとても豊富です。最近、日本の三菱とか日立のような大きな会社が向こうへ投資しているから、新疆の建設もどんどん進んでいくでしょう。

昔のシルクロードの先である新疆は、外国人にとって特別な魅力があるでしょう。新疆への旅行や観光もだんだん増えてきました。いつも都市で暮らしている人々は新疆のようなところへ行って、自然の美しさを見て、様々な自然の力を感じて下さい。砂漠で駱駝に乗って走ったり、馬に乗って草原の夕日を見たりすることは貴方自身にとっていい人生体験になると思います。

最後に、もし貴方が新疆に興味があったら、ぜひ知らせて下さい。お互いに交流することは良い勉強になるでしょう。貴方が新疆へ行かれる時には、私はいい案内人になれると思います。

和歌山の挑戦

ティディック・プルワディ

(インドネシア)

1992年の9月、ジャカルタにあるインドネシアの日本大使館は、私が和歌山大学で勉強する事を認めると知らせてくれました。その時、私は和歌山について全然何も知りませんでした。インドネシア人にとって和歌山は、有名な都市である東京、大阪、名古屋、神戸、広島、長崎等のようなではなかったからです。

私の弟は、和歌山の場所を知るために日本地図を広げ、和歌山は大阪の南に位置する事を見付けました。それ以来、少なくとも私の家族、親類、そして友達にとって和歌山は親しみ深い所になりました。言い換えれば、私がインドネシアに和歌山を紹介したのですよ！ハッハッハ

初めて和歌山に来たのがいつだったかっきり覚えていません。日本語を勉強し始めて3ヵ月が過ぎた、1992年の12月頃だったと思います。私は、和歌山と言うのは若い山と言う意味なのかなと思っていました。そしてそのうち、それは間違いであると気付きました。私の日本語はあまり上手ではなかったんですよ。ハッハッハ

田舎の地方として見ると、和歌山は大変住み心地の良い所です。ほとんどの施設が備わっています。関西新空港が開港してからは、特にです。

しかし残念な事は、市内の交通機関があまり便利でない事です。（私にとって...）それは交通機関の会社のサービスや、政府が悪いものではありません。システムが悪いのです！システムと言うのは、交通手段の接続等の構成のあり方です。交通機関は会社、政府、利用者によって成り立っています。交通機関の会社と利用者の関係について、もう少し詳しく御説明しましょう。交通機関系の会社は、いつも費用と利益について比較するようにしています。

- 1、乗客が少なければ、利益が少ない。
- 2、利益が少なければ、乗車券が高くなる。
- 3、乗車券が高くなれば、乗客が少なくなる。
- 4、1に戻る。

この様な関係により、人々は自分の車やバイク、自転車をも市内の交通手段にしています。

御存知の通り、和歌山大学は国立の大学です。和歌山にある唯一の国立大学ですが、残念な事にたった2つしか学部がありません。私にはこれが理解できません。他の大学と比較すると、和歌山大学は小さいと思います。しかし学部同士を比べれば、和歌山大学の各学部は比較的大きいと言えるでしょう。そこで、和歌山大学を大きくするために最も良い方法はもうすぐ開講される工学部のような、新しい学部を開設する事だと思います。

和歌山大学は、和歌山県のようにもっと発展するべきです。和歌山の主な産業は農業（そして漁業）にもかかわらず、農学部がありません。どうしてです



世界リゾート博で

か？最近の若者達は農業が好きでないと言えるかも知れません。工学の方が興味があるのかも知れません。しかし農業地域として知られている和歌山を発展させていくには、農学部を導入したほうが良いように思います。こういった目的のために和歌山大学は農業に基づく調査に積極的に参加し、援助するべきです。

新しく開講される工学部において、私は電気やコンピューターだけでなく生物工学等の農学についても調査してほしいと思います。どのように農産業を取り扱うかと言う点も勉強する上で、重要になってくるでしょう。これからの若者達が誰も農業をしたくなくなったら、どうしますか？有田のみかんや他の農作物も他の産業と同じように発展していくべきです。

近いうち文部省に他の大学と同様、和歌山大学を大きく発展させるために、和歌山県庁や和歌山市役所は何か新しい行動をとれば良いと思います。和歌山県立医科大学が和歌山大学の医学部として加われば良いでしょうね。その鍵となる人さえ同意してくれば、何でも可能ですよね。頑張ってください。

和歌山大学の発展を！ 和歌山県の発展を！
皆さんの成功を祈っています！

（訳 松島 美恵）

戦後五十年にあたる考え

朱 光 明

(中 国)

いよいよ戦後五十周年になります。いうまでもなくこの五十年間の世界歴史は、未曾有な激動を起こしたり、大きな変貌を遂げたりしたのは確かです。中でも、日本の進歩が極めて注目させています。戦後の日本は、世界一の経済力を達成したのみならず、民主主義的政治制度や平和主義的外交政策のため、高度な国際的評価をうけています。それでは、戦後日本の歩みをいかに見るべきか、これから、日本の国際貢献がどうなされるべきか、という問題について、戦後五十年にあたって、少し考えようと思います。

現代日本の特徴と言え、先ず、民主主義と平和主義が取り上げられます。勿論、多くの学者が述べているように、日本における民主主義のメカニズムがまだ十分に機能していない、また、日本型民主主義がいくつかの先天的な欠陥を帯びるのは、当然の帰結です。だが、おそらく、米国や欧州諸国を含め、いかなる国においても、民主主義のシステムが既に完全無欠に出来ているとは言えないでしょう。実際民主主義は近代国民国家の根本的な政治制度としてそもそも、各国の政治文化との接合を通じて現れてきたのです。そこで、民主主義を論じる際、それぞれの民族的政治文化や社会構造を考えずにはられません。

戦後改革を終えるとともに、民主主義的政治制度は日本でしだいに定着されたと思います。というのは、その時以来、権利による権力制限や価値多様化の確保など民主主義の基本的原理が明らかに憲法に書かれてあるからです。周知のように、政治伝統が異なるため、アジア諸国で民主主義的政治制度を築くことが極めて困難なのだとされます。現時点においても経済の面で急激に進んでいる一方で軍事的独裁政権の支配が相変わらず続いている国は数少ないと

はいえませんが、この点から見ると、日本で見事に開いた民主主義の花は、特別の意味をもつと認めざるを得ないのです。もしも、日本の民主主義の欠点を強いて言おうとすれば、民主主義を支える柱であるリベラル勢力は、いつも右往左往、無根性と弱体性を現してきたということです。例えば、あの五五年体制終焉、連立政権誕生時の爽やかな風は、あつと言う間に彼方に去ってしまいました。

ところで、戦後以来の世界歴史を顧みると、日本は五十年間のうちに、一度も戦争に参加していず、国際的軍事紛争にも介入していないまま、平和の環境下で、半世紀に渡っています。さらに、七十年代から、経済大国化が進むとともに、途上国への資本進出を次々と拡大しながらも、経済的実力による相手国内政干渉を行っていないようです。そのようなわけで、現代の日本は、確かに「普通な国」ではなくむしろ、「特殊な国」と言うのがよりふさわしいと考えています。

日本がアメリカと同じような経済大国になったにもかかわらず、平和主義的外交政策と平等な経済協力関係を守っており、アメリカのように途上国に弊害を与えることをしていないことこそ世界に対する最大の貢献だったと言ってもいいと思います。一国平和・一国繁栄の「小国主義」は既に時代遅れになったが、しかし、アメリカのように世界覇権を追求する「大国主義」の道も展望がありません。

世界的な国際化の進行につれて、「地球市民」という意識がますます多くの人間に受け入れられており、平和と発展が、もはや現在、世界の流れの主流を成しました。やはり、世界の国々が日本に最も期待しているのは、平和PKOよりも環境保護や経済開発や技術向上など広い分野で展開される援助と協力ではないでしょうか。



求む—日本のリーダーシップ

ヤップ・フィ・フック

(マレーシア)

日本は東アジアに「大東亜共栄圏」を創設するという崇高な大望を掲げて第二次世界大戦に参戦しました。当時、東アジアは西洋諸国の植民地でしたが、日本のいわゆる「西洋帝国主義」に対する戦いは自国の敗戦で終焉し、後に、今日の近代的な日本に生まれ変わりました。

第二次世界大戦後50年たった今日、「大東亜共栄圏」は他ならぬ日本の手によって再び形成されつつあります。

今回東アジアを襲っているのは、帝国陸軍ではなく最新技術を装備して東アジアの各都市に出現した多数の企業です。戦争中、当地域において多大の被害と犠牲を被ったとしても、今日、日本の企業は労働者から幹部まですべての人々に希望を与えています。戦争中に日本軍が武器を作るためにいかに無慈悲に当地域の財産を奪ったかというような話が多く伝えられていますが、現在では、日本の企業はすべての家庭で不可欠な大量の製品を生産しているのです。

統計的に見ると、日本はアジア全域に2500以上の会社や工場を持ち、その数は空前の速さで増加しています。これらの企業は50万人以上もの直接的な仕事を供給し、他の関連業務を含めればその数は優に2倍にもなります。今日まで長年にわたり、日本は東アジアにおいて、アメリカ及びヨーロッパ諸国をはるかにしのぐ最大の投資者であり、これらの投資は仕事を供給するだけでなく、同時にGNPの水準と輸出収入を増大させ、それが再び東アジアの国々に更に多くの投資と仕事と富をもたらします。その結果、東アジア地域は大きく成長しています。多くのエコノミストは、同じ率で成長してゆけば、21世紀は東アジアの世紀になると予測しています。しかしながら、この予測が的中するかどうかはまだわかりませんが、日本は東アジアの将来に強力な役

割と影響力を持っているのは確かであり、日本は戦後、東アジアとともに「繁栄」を求めてきたのです。

東アジア地域では、政治的にも経済的にも非常に大きな変化が見られたけれども、東アジアの人々は、日本が過去に彼らに負わせた過去の記憶と日本が今果たしている過去と反対の役割のために、日本について二面価値を感じているようです。50年足らずの短い間に、多くの東アジアの人々にとって、日本は敵から友人へ、侵略者から施主へ、そして迫害者からある主の救済者へと変わりました。東アジアの多くの人々の心の中には依然として多くの問題が未解決のまま残っています。現在、日本は依然として自国の利益のために他の国の人々を利用しているのでしょうか。東アジアの賃金が安くはなくなった時、日本の工場は他の国へ移転して、東アジアを再び望みのない地域にしてしまうのでしょうか。日本は再び戦争を起こすことがあるのでしょうか。

多くの微妙な問題に直面しながらも、東アジアの将来を形成する上において、日本のリーダーシップが大いに求められています。日本のリーダー達は、東アジアの人々が日本との関係の中で直面している懸念を和らげる手助けをしなければなりません。そして日本と他の東アジア諸国との関係は、親と子、親方と使用人のような関係であってはなりません。日本は、大きな相違と遺恨を有するヨーロッパの国々がいかにしてヨーロッパ共同体を形成するために協調したか、また、経済的に大いに異なる北米の国々がいかにしてNAFTA（北米自由貿易協定）を締結するために対等のパートナーとして力を尽くしたかを学ばなければならない。日本は東アジアのために何ができるのでしょうか。世界の他の地域はともかく、東アジアにおいては、日本のリーダーシップがきわめて重要であり、現実を受け入れられています。東アジアの国々は、日本が東アジアのために何をしてくれるのか、そしてまた、何をしてくれないのかを知りたいと思います。日本は、第二次世界大戦の目標が誠実なものであったことを証明する新たな機会を持つことができるのです。

(訳 松下 勳)

留学生紹介

大学院の部

・高 慶 魯 韓国／経済

はじめまして。私は韓国のソウルから来ました。今年から和歌山大学の大学院経済学研究科で、マーケティング論を研究することになっております。色々な国から来た留学生達と一緒に生活することができて嬉しいと思っています。今後共よろしくお願いします。

・Philo Bonianga ザイール／経済

皆様、こんにちは。私は昨年10月12日に日本にきました。そして、大阪外大で日本語の文法や漢字等を5ヶ月間勉強しました。日本人の友達から色々教えてもらいました。例えば、日本の風習等です。最近毎週末、日本語で会話をしました。その時、勉強したことは必要でした。3月31日に和歌山にきました。必要な物が多いのに、お金が少なくて困りました。幸い数日後、WIN コンコードに会ってお世話になり感謝の言葉もありません。皆さん、有り難うございました。

・朱 良端 中国／経済

WIN コンコードの皆様はじめまして、私は中国福建省からまいりました。和歌山へ来てわずか1ヶ月しかたっていませんが、WIN コンコードの皆様に変にお世話になりました。私は皆様の心強いご支援にそえるようこれからもより多くの人々とふれあい、日本できちんと学び、有益な留学生活を送りたいと存じます。趣味： スポーツ、読書

・Phul Boran カンボジア／経済

ブノンペン出身です。バトミントン、歌、旅行が大好きです。5才の娘がいます。

・仲 虹 中国／教育

「無錫旅情」で有名な無錫から参りました。教育一家出身の私にとって、読書を通じて、目を広め真理を求めることが人生の生き甲斐で、楽しみで

もありますが、それと同時に音楽、特にカラオケが大好きで、または中国の伝統的な健康術である気功をも長年やってまいりました。今回、神戸から友達誰一人もない和歌山に引っ越してくる前に非常に寂しく、そして不安にも思いましたがWIN コンコードの皆様からいろいろとご指導、ご支援をいただきまして、たいへん幸いに思い、皆様のご熱切とご厚情に強く心が打たれました。世界各国の国民一人一人の交流こそ、真の国際交流だと思って、一日も早く皆様と「仲」よし友達になれますよう心より深く期待いたします。

・張 洪俊 中国／教育

はじめまして。私は昨年10月5日に日本に来て大阪外語大学で日本語を勉強しました。簡単な日本語を少し話すことができますが、まだ不十分だと思います。これから和歌山大学に入って、化学教育を勉強するつもりです。どうぞよろしく願います。

・Kungamboo Sukumaran マレーシア／経済

去年の10月から今年の3月まで大阪外大で日本語を勉強しました。現在和大で経済学部大学院、国際経済を勉強しています。

宗教： インド教 趣味： 読書、サッカー

・Suchart Japukdee タイ／教育

I come from the northern of Thailand and I am a District Superintendent at Nongmuang Khai, Prae Province. I am in charge of promoting education, religion, culture and sports. I think that Japanese is quite difficult but I'll try my best to master it. I'm very happy, though because Japanese people are very kind and friendly. My hobbies are collecting stamps and sports.

・Ronnachai Suksomboon タイ／教育

I come from Bangkok, Thailand. I am a District Superintendent at Huayrat, Buriram Province which is about 400km North-east of

Bangkok. Now, I'm in the Teacher Training Program and my major is Educational Administration. People in Japan are very nice and kind. At first, I felt lonely and suffered from homesickness but now I feel better. I like sports and music.

学部生の部

- ・Juzaimi Nasuredin マレーシア/経営
留学してきた理由：日本人の働き方を勉強したいと思います。また、日本語をもっと上手に話せるようになりたいです。趣味：旅行
- ・Erniewati Abdul Rahman マレーシア/経営
留学してきた理由：日本語がペラペラになりました。趣味：買物、旅行、小説を読むこと
- ・李 欣芳 台湾/教育
以前関西国際学友会で勉強していました。しかし受験勉強のために日本人の友達が一人しかいませんでした。これからの大学生活を送りながらももっともといろんな国の人と接触して特に日本人のいい友達ができたら、一番嬉しいです。そして、日本の事について皆さんから教えてもらいたいです。もし台湾について何か質問があれば、私が喜んで答えますので、いつでもOKですよ！最後に

私は台湾人だけれども北京語もできますよ！

趣味：旅行、ハイキング、バトミントン、料理
家事、国際交流、人、映画、音楽、美術

- ・高 健 中国/経済
日本へ来て、もう2年になりました。「光陰矢のごとし」ほんとうです。これから大学生活を始め新しい先生、友達と知り合って、お互いに理解できるように頑張りたいと思います。よろしくお願いします。
- ・韓 松 中国/教育
去年の10月から和大の研究生として、美術を学習しています。主に油彩画について研究しています。今年9月の院生試験を受けて、続けて自分の好きな専門を勉強します。北京出身です。
- ・李 英蘭 中国/教育
音楽と演歌が好きで日本に来てたくさんの演歌を聴くことができよかったなと思っています。これからもたくさんの演歌を聴き習いたいと思います。

編集について、モハメド・ラハディフにお世話になりました。ありがとうございました。



今だから自分の心を守ろう

朴柄成

(韓国)

この間、私が通っている教会の朴 米雄牧師による「貴方の心を守れ」という説教があった。

簡単に要約すると、全ての生命には貴いものがある。例えば象においては象牙であり、熊では熊の胆が貴いとされているように、あるものは皮が貴いし、又あるものは羽が貴いし、あるものは尻尾が貴いとされている。

それでは私達人間にとって最も貴いものは何だろうか。それは心である。体がどんなに健康であっても心が病気になるれば不幸になり、土地や家がどんなに広くても心が狭ければ狭くなってしまふ。どんなに肉体的に自由があっても心が閉じ込められていればその人は奴隷のように生きるしかないし、どんなに良い服を着ていても心が汚れていけば、その人は汚れている人である。多くの人々は外観のために多くの関心を持ち、沢山のお金を使い、沢山の投資をする。しかし、私達は、心のためにどれだけの関心を持ち、どれだけ多くの投資をしているのか、どれだけ努力しているのだろうか。

中国人も心の大切さをよく知っていたようである。何故ならば、心が非常に貴い事を彼らは漢字を通して表現しているからである。「感謝」の「感」という字を見ると下に「心」という字がある。つまり、「心」が感謝するときに感謝であり、心が感謝しないと感謝ではないのである。「恩恵」も「忠誠」も心という字が入っているし「悪い」という字の下にも心がついている。心が悪い時に「悪」なのである。

エディスンも「魔術は私の心にある。心は地獄を天国へと作ることも出来るし、天国を地獄へと作ることも出来る。」と語っている。つまり、心が天国を作れば、どこに行っても天国であり、心が地獄を作

れば、どんなに良い環境の中にも地獄であるのだ。

また、ドストエフスキーは「聖霊と悪魔が戦っている。この戦争こそ私の心である。」と言って、私達の心を支配しようと聖霊と悪魔が戦っているのを、私達は私達の心を守って悪魔が入ってくるのを防がねばならないし、聖霊が入ってくるのを受け入れなければならない。だから「貴方の心を守れ、命の泉は心から流れ出るのだ。」という内容であった。

現代人は心の病気に掛かっているとよくいわれている。だからといって昔の人々は心の病気がなかったと言うのではあるまい。しかし何故、現代人というような区切りをわざわざつけたのか。また私達は現代という言葉から何を連想するのか。私は経済学を勉強しているからかもしれないが、私が思う現代社会は経済発展された社会である。つまり、経済発展したから心の病気が増えたとも言えるのである。人間が経済性を追求し始めたのは、人間生活の科学的な管理であり、もっと効率的な生活を営むための「無駄」を最小限なくすることが目的であった。最小限の投資で最大の効率を上げるのが経済的な考え方であったのだ。しかし、何故人間はこのような経済性を求め始めたのか。いろんな理由があったに違いないが、私は人間が求めた最大のことは心の豊かさではなかったかと思っている。長時間の労働からくる肉体的・精神的な疲れから逃れ、短時間の労働で自分の生活を営み、本来人間として持つべき心の安らぎを彼らは求めていたのではなかったかと思われる。しかしながら、結果的にはその経済発展のために私達の心は傷つけられ、病に苦しめられているのだ。それは何故なのか。

私は最近になって気が付いたのだが、私達現代人はあまりにも生活が豊かになったばかりに、自分の努力を抜きにして、全てのものばかりを求めるようになったのではないか。それと生活の進歩に追いつかず、自分を見失っているのではないか。何が大切で何を守らねばならないかを私達は忘れていてのではないかということだ。

私は日本に留学に来て本当に良かったと再三考えている。私は韓国人であり、私が世の中のことにやっと気がついた頃の韓国は経済発展をひとまず終えたばかりで、社会に対する不満が爆発し始めた頃だった。いつも社会は騒がれていて、人間の夢を実現させるのは程遠いことのように見えた。その頃私は、悪いニュースに接する度に、「経済発展さえできていれば・・・」と思っていたものだった。つまり、経済発展ができ、生活が良くなれば、人間は心が豊かになり、悪い意味での社会問題は起こらないだろうという考え方であった。そのモデルを私は日本に求めていたし、それが実現した今、私は問題の根本をやっと見る事ができたからだ。

現時点でいえば、世界で一番豊かで安心な国は日本だといってもおかしくない。しかし、規模の大小はあれ、阪神大震災から2ヵ月以上たったが、未だにテントでパンを食べながら暮らしている人々が日本の一隅には存在しているし、出勤地下鉄の中に「サリン」という毒ガスをばら蒔く等の事件が相次ぐのは理解に苦しむ出来事である。このような事件が日本で起きたから悪いのではなく、現代人が求めている経済的に成功した国で起こるから問題なのである。

私達は人間にとって貴いものを失っているのだ。自分の心に何の投資もしないで、何時でも綺麗な心であるかのように自慢する現代人、外観だけに固執するばかりに、人間のための経済発展が経済のための経済発展になってしまっているのだ。私達は自分の心に責任をとらなければならない。

自分の心を毎日点検し、油断する事なく心を守らなければならない。善と悪が戦っている戦場である私達の心を自分で美しくしなければならない。何故なら、貴方の心は他人には見えないから・・・。

留学生との関係

吉田 稔

(日本)

今回の募金活動を通じて、留学生と新たな関係ができたように思う。今まで私達が彼らをわが家に招待し、「ホストとゲスト」という関係であった。それが、活動を行っている間は、「同志」のような関係になった。そういう気持ちで接すると又一步彼らと近くなったようで一段と親しみがわいた。

留学生と交流するなかで色々な国によって異なる文化、習慣、宗教などについて聞く機会がふえ、興味を持つようになった。会話をすればする程、どんどん国境を越えていく。同じ地球にすむ「人間同志」なのだと感じるようになった。彼らから学ぶことは本当に多く、その内容はすばらしいものである。これからより多くの留学生とコミュニケーションしていきたいし、日本の良さを一つでも多く学んでもらえるようサポートしていきたい。

被災留学生支援に対するお礼

阪神大震災被災留学生支援活動にご協力を頂きありがとうございました。街頭募金583,507円とテレフォンカード1,478枚のご厚志をいただき神戸大学外国人留学生後援会、御神戸学生青年センター、神戸YMCA日本語科に寄付致しました。ここにご報告申し上げるとともに心よりお礼申し上げます。

和歌山大学留学生
WINコンコード



唐 海 林

(中 国)

去年桜が咲いていた季節に初めてWINコンコードのメンバーと出会い、今年雪が降る頃、WINコンコードの協力で楽しみにしていた会社見学とスキー旅行に行った。愛知県にある日本電装(株)である。

私は旅が好きだ。旅をすると知らないうちに自然と美しい景色になっていく気がするところが好きだ。私は、人と付き合うことも好きである。もし言葉が全然分からない人と付き合う場合でも、心が通じると感じられる。私は子供が好きであり、老人も好きだ。年の差は私にとって人と友となる壁にならない。子供が新鮮な生命を持ち、老人が成熟した生命になり、その後、より完全で新鮮な生命に戻り、生命の魅力が星のようにきらきら光る。

旅の気持ちを持って、私達和大留学生は1月11日朝6時20分、国際交流会館を出発した。久しぶりに留学生が集まり、なごやかな雰囲気、昼頃日本電装西尾工場へ到着した。昼食後工場の製造過程を見せてもらった。全世界自動車の発動機を60%位生産するそうである。

車の時代に入ると現代社会人は、すごいスピードを出している車の中で物事をしているような日常生活をおくる。生活状態がいくら速く変わっても人と付き合うことを一期一会というように大切にしなければならない。

人間の生命のもとの意味は、個性完成と社会性完成の二つにあると思う。人に思いやりを持つこと、社会に協力すること、及び自分が何かして回りの人が良くなれば、人間の真の快楽、幸福の源だと思う。私は物事をするとき進歩心と平常心の二つの心を持っている。



二つの工場を見学した後、トヨタ研修所という立派な所に泊まった。皆ゆっくり休んだ。翌日三重県の御在所岳というスキー場へ行って、自然というもののすばらしさを思いきり体験した。ゴンドラで山を登る。山の下の木々の緑、山の上の雪の白、ゴンドラの鮮やかな赤を見ると心が落ち着く。美しいという気がする。広い山の中の明るい太陽の下で、静かな自然を胸に動いている人の影が見え感動した。中国ハルビン出身の私は、2年8ヵ月ぶりの雪景色を見る。初めて雪と出会う留学生は心から笑っていた。

海瀬様、佐伯様、馬場様は、丁寧にスキーのやり方を留学生達に教えてくれた。何回もチャレンジをして、高い所から滑っていた人がたくさんいた。山と雪と人はもう一つ御在所岳の美景になったと思う。

一泊二日の旅が終わった。人生の旅は永遠に続いていく。WINコンコードの人々と付き合ってから、社会から受けることより社会に与える方が楽しいことがもっと分かった。WINコンコードと協力をして、世界と付き合う。人類が最後に美しい世界を創造できることをいつまでも信じている。



思い出深い祭り

モハメド・ラハディフ 松島 美恵

(マレーシア) (日本)

数年前、和歌山大学にI. S. A (国際留学生連合) ができて以来、私達は和歌山県や市の国際課、日本人のボランティア団体、そして勿論名誉ある私達の愛する和歌山大学が関わっている多くの活動に招待されるようになりました。I. S. Aは形式的なアプローチのためにできたのではなく、私達の最も重要な目標は、日本の社会に交わり、人々がどのような考えを持っているのか理解しようとする事です。

昨年の最も大きな行事は、11月に行われた和歌山大学祭に参加した事です。私達は色々な国の食べ物を売りましたが、大変な時もありました。なぜなら沢山の問題に直面したからです。まず最初、私達の間で問題が起きました。というのもメンバーの何人かが売店の手伝いを拒んだからです。そして事態はもっと悪くなりました。担当者が義務を果たせなくなり、新しいメンバーに責任を渡してしまったのです。その他にも、スポンサーとの交渉等、次々と沢山の問題が起きました。しかし彼らは力強い決心をして、ベストを尽くしたため、幸運にも以前よりうまく事が進みました。

去年私達は、スリランカ・タイ・マレーシア・中国の4ヶ国の食べ物を売りました。何故かという、私達の目的はお金儲けではなく、尊敬する日本人の友人達に、私達の国の食べ物を食べてもらいたかったからです。大学祭が行われるまでに、WINコンコードのメンバーを含む和歌山県に住む多くの大切な友達、先生方に招待状を送りました。嬉しいことに、尊敬する日本人の友人達は「どんな食べ物を売するのか?」と、興味を示してくれました。そして、大学祭の日は素晴らしい日で、I. S. Aにとっても大成功を収められた最高の日でした。



私達はWINコンコードや、和歌山大学が物資の面また精神的な面でサポートして下さいたことに大変感謝しています。そして、皆さんが理解して下さいた事にとても嬉しく思います。皆さんのバックアップがあったからこそ、大成功に終わる事ができたのです。これからは、もっと多くの協力者を得て、私達の活動に貢献し、一緒に調和のとれた団体を築きあげたいと思います。完璧な組織を作るには、皆さんに参加してもらう事が大切です。皆さん一緒にやりましょう! 協力してくださる人々を絶対に失望させませんから...





WINコンコード設立趣意書

現在社会は、政治・経済・文化のすべて分野で、地球を一つの単位として捉え、はじめて、その機能を十分に発揮しうる状況に至っていると思われます。そして、このかけがえのない地球の責任を担っているのは、たった一つの「種」に留まる「ヒト」即ち人間であり、その一人一人の人間が確立された個として、地球の貴重な構成要素としての役割を果たすことが求められています。民族の違いは、多様な文化の豊かさを示すにすぎず、国境は行政を効率的に行うための境界にしかすぎないのです。

WINは、人間の知恵を結集し、愛すべき郷土和歌山が、人間味溢れるネットワーク（HAN Human Active Network）で結ばれた、活性化された地域となるために活動するものです。そして、世界各国から勉学の場を求めて留学して来る人々に、より良い環境を整えることは、ひとつの単位となった地球上に「HAN」を構築するうえにおいても重要なことであり、これにより、地球のひとつの地域である和歌山が、世界とダイレクトに結びつき、和歌山の優れた文化が世界に紹介され、地球の多様で豊かな文化環境の醸成に寄与できるのではないかと考え、我々は、WINコンコードを設立するものです。

WINコンコード事務局

〒640 和歌山市大谷264-21

TEL 0734-52-7474 FAX 0734-52-6050